

施策評価調書(26年度実績)

施策コード Ⅲ-2-(2)

政策体系	施策名	文化財・伝統文化の保存と活用	所管部局名	教育庁	長期総合計画頁	127
	政策名	芸術・文化の興隆とスポーツの振興	関係部局名	教育庁、企画振興部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	文化財・伝統文化の保存	文化財・伝統文化の活用	文化財・伝統文化の継承	世界遺産をめざした取り組み

【Ⅱ. 目標指標】

指 標		関連する 取組No.	基準値		26年度			27年度	目標達成度(%)						
			年度	基準値	目標値	実績	達成度	目標値	25	50	75	100	125		
i	国・県指定文化財数(件)	①	H16	835	894	894	100.0%	900							
ii	歴史博物館などの入館者数及び訪問講座等受講者数(人/年)	③	H22	97,497	99,500	101,570	102.1%	100,000							

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等			平均評価
i	達成	地域に受け継がれてきた文化財の新たな指定や登録の推進を行った結果、目標を達成した。		達成
ii	達成	歴史博物館・先哲資料館・埋蔵文化財センターにおいて、展示内容の充実や広報活動に努めた結果、目標を達成した。		

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①②	・地域の文化財魅力度アップ事業で「文化財の修復現場公開」を7件実施(11,635人参加:H26実績)したことで、文化財の新たな魅力を発信することができた。
③	・県文化財保護審議会委員に、民俗文化財の専門家を委嘱するとともに、2月には、パネルディスカッション「伝統芸能への支援のあり方を考える」を開催し、市町村文化財担当者の資質向上を図った。
④	・教育遺産の世界遺産登録に向けた日田市の取り組み(咸宜園に関連した文化財の整備・活用事業及び廣瀬淡窓旧宅の保存管理計画策定)を支援した。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(26年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	27年度の方向性	
①②	地域の文化財魅力度アップ事業	21,548	A	継続・見直し	215
③	特別展開催事業	18,121	A	継続・見直し	216

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

○平成26年第2回大分県文化財保護審議会(H26.12)
 ・県指定文化財の管理状況を把握するとともに、市町村が文化財の保存活用計画を策定するように、県として指導してもらいたい。
 ・市町村に対して、今まで以上に環境部局と連携することや、マスコミ等を利用した広報を行うなど、文化財の積極的な活用に関して県として指導してもらいたい。

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村が主体となって、観光的観点から文化財を総合的に活用する計画の策定を引き続き支援する。 ・地域の文化財・伝統文化を未来に継承するため、鑑賞・発表機会の充実を図る。 ・地域の人々の精神的拠り所である文化財・伝統文化の整備・活用・継承を通して、さらなる地域の魅力度の向上を図る。 ・歴史博物館等の展示内容をさらに充実させ、来館者アンケートで県民ニーズを把握する等し、入館者数アップに努めると同時に、文化財や伝統文化財の保存に対する一層の理解を図る。 ・各種広報番組や教育庁チャンネル等を通じて、時宜に応じて情報発信を行う。 ・地域の文化財を守り伝えていくために、市町村と連携し、文化財管理体制と防犯・防災体制の充実を図る。